

市民発！

市民団体による フューチャー・デザインの取り組み

フューチャー・デザイン宇治 世話人

上島 均（平等院表参道まちづくり協議会会長）

瀬戸真由美（自営業・主婦）

フューチャー・デザイン宇治とは？



FUTURE DESIGN
フューチャー・デザイン宇治

「住民が主体的に地域づくりを考えるきっかけの場」

1. 自主運営

- 有志4人の世話人（+京都文教大学 森正美先生の助言）による運営体制
- 2カ月に一度程度のワークショップ開催

2. 市民レベル

- 行政の関与なし
- フラットな関係（出入り自由）

* 自由な雰囲気、利害関係がなく対等な議論を行っています

3. 多様性

1. 多様な主体の参画（性別、年齢、所属、経歴など）
2. 毎回ワークショップの参加者が異なる

* 斬新なアイデア、楽しさ、わくわく感を共有できる場になっています



2019年2月17日『京都新聞』より

フューチャー・デザインとの出会い



フューチャー・デザイン？

- ・ 2018年10月 宇治市主催のフューチャー・デザインのシンポジウム
「かんがえよう これからの地域の未来。」に参加

- ・ 2018年10月～ 2019年1月
「**地域コミュニティの未来を考えるWS**」 4回 宇治市主催

未来人の体験

* このままフューチャー・デザインの手法を活用したWSを収束させるのは、

「**もったいない**」

最終回(2019/1/28)に継続の呼びかけ

およそ3分の2の参加者が継続を希望



市民“発”の活動スタートへ

- ・ 2019年3月2日に市民の有志による「**フューチャー・デザイン宇治**」を発足
宇治市のワークショップから23名が継続して参加
約2か月ごとにWSを開催
- ・ 2019年5月12日 3つのテーマ（健康、防災、商業）の現状と課題のWS
 - Aグループ「健康でいきいきと暮らせるまち 長寿社会への対応」
 - Bグループ「地球温暖化の脅威と水害対策」
 - Cグループ「商業の振興によるつながりとしぎわいの創出からみる地域コミュニティの育成」
- ・ 2019年7月6日 3つのテーマ 2050年の未来人になりきってWS
- ・ 2019年9月7日 将来像へのロードマップと条件WS



世話人は、継続的にフューチャー・デザインのファシリテーションを学び続けています

フューチャー・デザイン宇治 世話人

上島 均 (平等院表参道まちづくり協議会会長)の場合



フューチャー・デザイン宇治 世話人

瀬戸 真由美 (自営業・主婦)の場合



これからの活動について

- ・ 現在登録メンバーは、37名

- ・ 2020年第2期目スタート 2月8日（土）

「宇治市第5次総合計画」を参考にテーマをしぼり

「子ども×地域社会」「少子化」「」について議論します

- ・ 市民参加を増やし、
宇治市の未来について考える人を増やしていきます



Facebookページ「フューチャー・デザイン宇治」で検索
<https://www.facebook.com/futuredesignUJI/>